

3年次生「課題探究」実践活動

『あおこうまるしえ』（10月29日開催）の紹介

酒かすスコーンや青谷木綿実演

地元の魅力を発信

青谷高生 研究成果を披露



来場者に青谷木綿について説明したり実演して見せたりする生徒ら＝29日、鳥取市青谷町青谷の同町総合支所

青谷高（鳥取市青谷町）の3年生が課題研究の成果を披露する「あおこうまるしえ」が29日、同町総合支所で開かれた。生徒が開発した酒かすのスコーンの試食や、木綿作品の制作実演などがあり、生徒たちが来場者に説明。地元の魅力にスポットを当てた取り組みを発信した。

課題研究は、地域課題を調査研究し作品制作などを行う授業。体験、見学方式で発表するのは初めて。この日は八つのテーマごとにブースを設置。生徒85人が地元住民など約60人の来場者に紹介した。

自然酵母でのパン開発に取り組む班は、地元酒造会社の協力を得て開発した酒かすのスコーンやドリンク

を紹介。江戸・明治時代に青谷港から出荷された「青谷木綿」を研究する班は、機織り機で作品作りを実演し、来場者が綿の種取りを体験する場面もあった。

因州和紙を研究する班による縦横1・8びのちぎり絵の壁面展示や、北前船の商業活動の発表などもあった。

鈴木裕也さん（18）は「取り組んでいることを地元を知ってもらう機会は大切だと思う。先輩から引き継いだ成果を報告できて良かった」と話した。

（渡辺曉子）